

# 広報

# きたくまい

発行：北熊井区

世帯数と人口 R7.2.1 現在 (前年同期比)

| 世帯数         | 男           | 女            | 合計             |
|-------------|-------------|--------------|----------------|
| 478<br>(-1) | 636<br>(-3) | 649<br>(-11) | 1,285<br>(-14) |

## 県がF・パワー住民説明会で陳謝

県・市民間が連携して推進した「信州F・パワープロジェクト」は旧征矢野建材に続きバイオマス発電会社も経営破綻した。これまで区は多くの課題に対応することでこのPJを支えて来たが、見事にその思いは砕かれた。区は、県に対し今回の責任を受け止め、計画通り軌道に乗せられなかった原因を検証し説明するよう繰返し求めて来た。このほど住民説明会が行われその内容が明らかになった。

11月県議会で知事から次のような説明があった。「発電事業を担うソヤノウッドパワーの事業は綿半ホールディングスと九電工が共同で設立する会社を引き継がれることになりました。(中略) 県は、これまでプロジェクトにおける役割と責任を誠実に果たして参りましたが、結果的に当初の計画通りに事業が進捗せず、関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけすることになりました。このことにつきましては、大変に心苦しく申し訳なく思っております。(中略) 今後は、事業の持続的な発展に向け、関係者の取組みを最大限に努力いたします」

また、過日行なわれた住民説明会において、県の林務部長からも次のような説明があった。「北熊井区の皆様にはプロジェクトの趣旨をご理解いただくとともに事業の実施にご協力いただいていたことに、心から感謝申し上げます。(中略) 結果として当初の計画通りに事業が進捗せず、新たな形でス



で参りますので、北熊井区の皆さんには引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます」とのお詫びと今後の取組みが述べられた。

旧征矢野建材は、昨年4月に綿半ホールディングスが子会社化し綿半建材に社名変更した。ソヤノウッドパワー(発電所)も11月に子会社され、今年の4月に事業分割で発電事業を新会社の綿半ウッドパワーに譲渡し引き継ぐ予定だ。

現在、発電所の稼働は良好な状況にあるが、この大規模発電所を今後も継続して動かすには大量のチップ供給が必要となる。特効薬はないものの、県下有数の企業である綿半グループの総力を挙げての取り組みに期待している。

県は、今回の反省を踏みしめ、区民はもとより県民に不信を持たれないよう進めてほしい。

## 防災機材の整備

昨年は年初から能登半島地震による大規模災害が発生し、1年経過しても未だに避難所生活が解消されていない状況にある。塩松地域は地震発生確率が高く同様な事態となる可能性もあることから区も防災対策を重点事業として進めている。

今年度は、防災機能を持った公園を建設した。普段は公園として利用し、災害発生時は緊急避難場



所として活用可能な公園だ。園内には煮炊き可能な多機能ベンチ2基、芝生広場、土嚢置場を設置、防災倉庫にはスコップ、土嚢袋、中型ワンタッチテント、避難所用個別テント、トイレテント、携帯電話の充電可能な大型蓄電池などを整備した。公民館構内には断熱材付倉庫、長期保存水(300本2ℓ)、LEDランタン、LED懐中電灯、ヘルメット、ブルーシート、給水タンク、LPガス発電機、ハンドマイク、発電用ラジオを新たに整備した。既存備品としては大釜セット、大型ワンタッチテント、LED投光器、ガソリン発電機、リヤカー、石油ストーブ、車いす、水中ポンプが整備済みとなっている。

だいぶ揃って来ましたが、まだ不十分な点もありますので、市と調整しながら充実してまいります。



## 各種建設工事報告

## 粕塚線道路拡幅工事

電柱の移設と電線、電話線などの移設工事を実施後、道路拡幅工事を8月から着工しました。集会所までの拡幅盛土を行い、公園北側までの道路改良舗装工事、ガードレール設置、公園入口の道路舗装を実施しました。拡幅できたことから安全性が向上しました。拡幅できたことから、次年度も継続して実施の予定です。



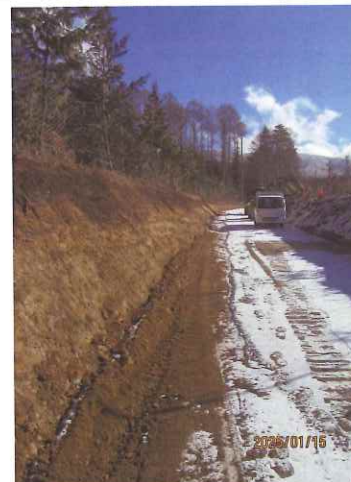
## 権現線側溝設置工事

権現常会の南北線の側溝設置工事45mを雨水対策として実施しました。



## 林道大塚線拡幅工事

林道大塚線の災害防止対策工事を実施中です。昨年実施した綿半ウッドパーク東側186mに引き続き、東側へ460mを実施しています。拡幅・側溝設置・水木切りなどの工事を実施し、災害防止を図る計画です。今年度は3か年計画の2年次で次年度は残りの426m実施し完了の予定です。



## おおぶさ水路改修工事

堀田地籍の農業用水路を改修しました。多雨時に周辺農地の洪水被害が重くなったため改修を行いました。



## 区有林の山作業

12月1日区有林2箇所を実施し、大勢の皆さんに出席頂き実施しました。林道片丘線沿いの三つ又東側と金堀の北側斜面で、6年前に森林整備事業で間伐を行った場所であったため、太い木はありませんでした。普段使用しないノコギリやナタを使用し軽傷もありましたが無事終了しました。皆様の協力で区民の山財産が守られています。



## 秋季クリーンパトロール

11月10日(日)午前8時より区役員2名・正副衛生部長2名の計4名で山麓線・東西線・今泉テクノヒルズ工業団地内のクリーンパトロールを実施しました。山麓線沿いを重点に巡回し投棄物の回収を行いました。車内から投棄したと思われるペットボトル、空き缶などが多数散乱しておりました。今後ポイ捨てのしにくい環境を作る事も課題かと思えます。

## 片丘バイパスについて

令和6年度からの事業化が決定していますが、改めて昨年の12月に県庁において県の建設部長に対し、バイパス建設の早期実施要望書を市長とともに提出いたしました。過日、北熊井を含む片丘地区3カ所で地権者から了解の得られたルートに沿い、今年度は路線測量と詳細道路設計が進められています。今後関係の皆様のご理解とご協力をお願いします。

## お知らせ

## 令和6年度

## 第23回北熊井区通常総会開催

- ・日時 3月22日(土) 午後7時
- ・場所 北熊井区公民館
- ・委任状 欠席される方は委任状を各常会の役員に提出をお願い致します。

## 令和6年度

## 賛助金のお礼

北熊井区からの賛助金のおかげで、安心して暮らす環境づくりや住みやすい環境確保に有効に使わせて頂きます。





## 区長報告

区長 中野 嘉之

早いもので、区長を引き受けて4年が経過しようとしています。この間、区民はじめ関係団体の皆様にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございますでした。

4年間のコロナ禍の影響から脱し、やっと以前の生活や活動が出来る状態に戻って来ましたが、続く物価高で生活環境は厳しい状況が続いています。

さて、昨年度は、区の重要プロジェクトであった「北熊井ふれあい公園」が完成しました。旧大沢ため池の埋立てを決定した平成29年から8年、跡地利用方法の検討開始から4年を経て実現しました。公園作りは花植えや植栽、各種の整備作業に大勢の区民の皆さんに参加頂き、手作りの公園作りが出来たことに感謝申し上げます。今後は皆さんの交流の場、憩いの場、災害時の避難場所としてご利用頂ければありがたいと思います。

信州F・パワープロジェクトは、旧征矢野建材に続き、ソヤノウッドパワー（発電所）も破綻し、地元が心配していた結果となっていました。県下有数の企業である綿半ホールディングスが再生スポンサーとなったことから急速に再建が進み、今後は綿半建材、綿半ウッドパワーとして事業運営が行われることになりました。県に以前から要望しておりました県の重要プロジェクトの破綻の原因の検証と地元への説明も過日行なわれ、今後の取り組み内

容も明確になりました。この事業が順調に発展することを願うばかりです。

片丘バイパスは、令和6年度に県の事業化が決定し、6年後に供用開始の予定で進められています。

今泉の池下の産業廃棄物問題は、令和2年に違法状態が確認されて以来取り組んでいますが、個人事業主で零細であることから県の再三にわたる指導にも関わらず解決の目途が見いだせていません。誠に申し訳なく思っております。事業者が県に提出した搬出計画通りに実施されておりますので、引き続き県と連携し粘り強く早期の撤去を申し入れてまいります。

もう一つの今年度の重要事業は防災機材の整備です。地震や各種災害はいつ発生するか予測できませんし、災害の規模もわからない中で整備を行うことになり、ますので大変な課題です。災害時に必要と考えられる機材をリストアップして予算の範囲内で整備しております。今年度はふれあい公園に第二拠点となる防災機材倉庫を設置し基本的な整備を購入しました。公民館には断熱材付倉庫を新設し長期保存水約300本などを備蓄しました。これからも計画的に整備して参ります。

任期中には至らぬ点が多々あったと思いますが、区民の皆様のご指導とご理解、絶大なるご協力により何とか勤め上げることが出来たことに心から感謝申し上げます。

「北熊井  
ふれあい公園」開園

北熊井ふれあい公園が完成しました。おかげさまで11月2日北熊井ふれあい公園として開園しました。災害時にも対応可能な機能を備えた多機能公園として、市の指定緊急避難場所に指定されました。今後は地域の皆さんの交流の場、憩いの場としてご利用頂ければ大変ありがたいと思います。

令和3年に「大沢ため池跡地利用プロジェクト」を発足し、北熊井分館、子ども会育成会、片丘分団第三部など区内の11団体、市も入ってスタートしました。区民、各団体からの提案や意見集約、埋立時の県の活用条件、公園建設するための各種補助金の獲得条件の調査などを行い、総合的に判断した結果、「北熊井のコミュニティの強化と防災拠点機能の強化を目的に建設する」との方向付けを行いました。

令和5年に市から公園整備に関する提案があり、建設に関する補助事業の予算化や県の「地域発 元気づくり支援金」事業の決定、県地域振興協会の「地域防災補助事業」にも採択され



たことから建設を決定しました。これまでの経過や公園計画について、各常会の賛同を頂き総会で建設を決議しました。

工事開始に当たり地鎮祭と安全祈願祭を行い、令和6年6月に着手し計画通り10月に末に完成する事が出来ました。

建設に当たっては、芝張り、植樹、広場の砂引き、駐車場の碎石引き、あずま屋の組立などの力仕事を大勢の皆さんに参加いただき、区民手作りの公園づくりが出来ました。

公園の企画検討段階からメンバーとして加わって頂き、県や関係部門との調整にご尽力を頂きました市関係者、度重なる追加要望にも対応しながら納期通りに完成頂きました事業者に感謝いたします。



## 二十歳を祝う会

新年1月12日北熊井諏訪社において、区内の成人者を対象に二十歳を祝う会が行われました。恒例の行事として北熊井分館と区の共催で実施しています。今年の対象者は11名で内3名が出席しました。民生児童委員、常会長会長、総代長が同席し、厳寒で引き締まる様子のなか諏訪社拝殿において神事と式典を行いました。区長、分館長から、自分が育ったふる里北熊井に誇りを忘れないでほしいことや積極果敢にチャレンジし変革の時代を乗り越えてほしいなどの激励とお祝いが述べられ、続いて成人者を代表して北村の武居さんより「育てて頂いた皆様への感謝を申し上げ自分の成長に努力します」との力強い誓いの言葉が述べられました。立派に成長して頂くことをご祈念申し上げます。



## 令和7年 新年祝賀交歓会

令和7年1月12日、来賓に市長、塩尻商工会議所会頭、県議、市議及び区内の各団体長お招きして、恒例の北熊井区新年祝賀交歓会を区公民館にて開催しました。

まず区長挨拶の中で、今年度の重要課題である「北熊井ふれあい公園」の完成報告と「信州F・パワープロジェクト」の現状と見通し、産業廃棄物問題、片丘バイパスなどの経過などについての報告がありました。市長からは、公園完成の祝意とFパワーの見通し、高齢化問題等について話されました。引続き北熊井自衛消防隊が「自主防災組織表彰」を受賞したことを記念し市長より感謝状の贈呈がありました。その後、分館長の乾杯で交歓会始まり、会場は盛り上がり有意義な交流と意見交換が出来ました。結びに、新たな年が無事であること、更なる北熊井区の発展を祈念し終了しました。



## ふれあい公園の管理について

区役員会において管理方法を決定しました。

- ① 管理責任 北熊井区
- ② 管理内容 公園内の施設管理  
(施設、防災器具、土嚢・砂)

園内の巡回、点検  
トイレ清掃、備品補充

- ③ 業務委託 芝生の刈込、園内の除草地を区内の方に委託する
- ④ トイレ清掃 区役員が当番で実施

- ⑤ 水使用箇所の使用禁止期間の設定

(期間) 毎年11月15日～3月15日  
(箇所) トイレ、水道

## 雪掻き対応



降雪期に成りましたので、生活道路、広場の雪かき及び、凍結防止剤の散布をお願いします。

公共場所の除雪につきましては、市から機械使用助成金が交付されます。降雪10cm以上で、1時間以上、30分単位で申請できます。

昨年度は、雪が降り積もる日が続き、作業中に怪我をされた報告もありましたので、除雪作業においては十分気をつけていただき、安全作業をお願い致します。

## 社会福祉協議会 北熊井分会

### 鉢伏会

第三回は11月17日北熊井公民館、第四回は2月2日にふれあいセンター広丘において開催され、会員の皆さんとスタッフ約60名が楽しいひとときを過ごしました。

出席者同士の楽しい会話の時間を大切に進めました。第三回はNHKの紅白歌合戦放送に出演された牛山の先生のご指導のもと、全員でけん玉遊びをして楽しみました。第四回は、コーラスグループのゴレンジャーによる楽器演奏と優しい歌声を聞き、歌に合わせて手足の運動もあり盛り上がりしました。今回は久しぶりに昼食をとり、ゆっくりした時間を過ごしました。



## カレー大作戦

今年度初めてカレー大作戦を公民館で開催し、大勢の区民の皆さんに食して楽しんでもらいました。

社協、北熊井区民生児童委員、片丘地区食生活改善協議会の共催で実施しました。

